

# 平成30年度「全国学力・学習状況調査」における春日井市全体の結果について

春日井市教育委員会

平成30年4月17日（火）に、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の春日井市の結果の概要についてお知らせします。

なお、この調査の結果は、児童生徒の学力の一部であることをご承知おきください。また、この調査の詳細は、国立教育政策研究所のウェブサイト「全国学力・学習状況調査」により確認できます。

<http://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>

## 1 小学校6年生

### (1) 教科の状況

状況を見るにあたって、よくできている内容【○】と努力を要する内容【△】の一部及び今後の指導のポイントを紹介する。

#### 【国語・小学校6年生】

	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	状況	正答率：全国平均と同程度 分 布：全国とほぼ同様	正答率：全国平均よりやや低い 分 布：上位層が少ない
	内容	○文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。 ○自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 △登場人物の心情について情景描写を基に捉える。	○計画的に話し合うために、司会の役割について捉える。 ○目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考える。 △話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。 △目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。
<b>今後の指導のポイント</b>			
<ul style="list-style-type: none"><li>・物語を読む際、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、そのことによって内面にあ る深い心情も合わせて捉えることができるようにする。そのために、例えば、心に残った叙述 を取り上げ、それを取り上げた理由を考えることを通して、メッセージや題材を強く意識させ る表現などに着目できるようにする。</li><li>・相手の意図を捉えながら聞くためには、自分に伝えたいことは何か、共に考えたいことは何か など、話の内容を十分に聞き取ることが大切であり、相手と自分の意見を比べて考えを述べるた めには、共通点や相違点を具体的に明示しながら話すことが大切である。学習の場面で、常に話 し手と聞き手が共に自分の考えをもって話し合いに臨むことができるようにする。</li><li>・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読み重ねたり、読み比べたりするなど、効果的な 読み方を選択して活用することは重要である。同じ人物の伝記であっても複数の本を選んで読 むことで、取り上げられた人物の生き方や人生などをより深く知ることができるようにする。</li></ul>			

【算数・小学校6年生】

	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
算 数	状況	正答率：全国平均より低い 分 布：上位層が少なく、下位層がやや多い	正答率：全国平均よりやや低い 分 布：上位層がやや少ない
	内容	<p>○十進位取り記数法で表された数の大小について理解している。</p> <p>○面積がそろっているときの込み具合の比べ方を理解している。</p> <p>○異種の2つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。</p> <p>△1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる。</p> <p>△180° や360° を基に分度器を用いて180° よりも大きい角の大きさを求めることができる。</p> <p>△直径の長さと円周の長さの関係について理解している。</p>	<p>○折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる。</p> <p>○示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる。</p> <p>△合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる。</p> <p>△図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できる。</p> <p>△メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる。</p>
<b>今後の指導のポイント</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解決する過程で、数量の関係を捉え、数量の関係を図や数直線などに表す活動を位置付けて計算の意味の理解を基に演算決定をすることができるようにする。</li> <li>・見当を付けること、測定すること、測定の結果を振り返って確かめることの各活動を関連付けて角の大きさを正しく測定することができるようにする。</li> <li>・直径の長さと円周の長さを調べたり、円周の直径に対する割合を調べたりするなど、作業的・体験的な活動を通して、円周率の意味や、直径の長さと円周の長さの関係について理解できるようにする。</li> <li>・図形についての見方や感覚を豊かにするために、敷き詰められた図形の中に、ほかの敷き詰めることができる図形を見だし、考察できるようにする。</li> <li>・日常生活の事象を図形の構成要素や性質を基に観察し、図形を判断したり、事柄が成り立つことを論理的に考察し、数学的に表現したりすることができるようにする。</li> <li>・児童自らが数量の関係を見だして考察し、さらに、その関係がほかの場合でも成り立つことを確かめて、数量の関係を的確に表現することができるようにする。</li> </ul>			

【理科・小学校6年生】

理科	状況	正答率：全国平均よりやや低い 分 布：上位層がやや少ない
	内容	<p>○調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる。</p> <p>○乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる。</p> <p>○より妥当な考えをつくり出すために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる。</p> <p>○太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる。</p> <p>△人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる。</p> <p>△回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から電流の流れ方における、より妥当な考えに改善できる。</p> <p>△ろ過の適切な操作方法を身に付けている。</p> <p>△物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。</p>
<b>今後の指導のポイント</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活に適用できるようにする。そのために、例えば、人がどのように体を動かしているのかを表現する手段として、実際に腕が曲がる仕組みを筋肉の様子と関連付けて考え、身近なものを使った模型を用いて説明できるようにする。</li> <li>・実験結果を基に、より妥当な考えに改善できるようにするためには、<b>予想とその予想から実験結果までを見通し、得られた結果を照らし合わせて考えるようにする</b>。そのために、予想したことや得られる結果の見通しについて話し合ったり、実験後、自分の予想と実験結果を比べるときに<b>他者の多様な予想も比べたり</b>できるようにする。</li> <li>・器具の適切な操作方法を身に付けることができるようにするために、<b>器具の操作の手順の理解だけでなく、器具を使用する目的や操作の意味を捉えさせるようにする</b>。また、そのための話し合いや確かめ合いを学習活動に取り入れるようにする。</li> <li>・実験結果を基に分析し、問題に正対したまために改善できるようにする。実験結果を整理してまとめる際に、結果を事実としての確に捉え、事実から解釈したことを「<b>実験の結果からいえること</b>」として言及することができるように指導する。その際、<b>自分の考えを表現したり、見直したりするなどの話し合い</b>ができるようにする。</li> </ul>		

## (2) 学習・生活習慣等の状況

状況調査を見るにあたって、学習・生活習慣等を「生活習慣」「学校・家庭での生活の様子」「自尊意識」「規範意識」「学習の様子」の観点から分析する。

全体の傾向（様子）のよい点【○】と改善が必要な点【△】及び学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連について紹介する。

### 全体の傾向（様子）【小学校6年生】

#### 【生活習慣】

○朝食を毎日食べている。 ○同じくらいの時刻に起きている。

#### 【学校・家庭での生活の様子】

○学校の授業以外に読書をしている。 ○新聞を読んでいる。 ○家で学校の宿題をしている。

○テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている。

△家で、自分で計画を立てて勉強をしていない。 △家で学校の授業の予習・復習をしていない。

#### 【自尊意識】

○自分にはよいところがあると思う。 ○将来の夢や目標を持っている。

○人の役に立つ人間になりたいと思う。

#### 【規範意識】

○学校のきまりを守っている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけない。

#### 【学習の様子】

○算数や理科の勉強は大切だと思う。 ○理科の授業がおもしろいと思う。

○理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができた。

○今、社会のことがらや自然のことがらに「不思議だな」「おもしろいな」などと思う。

△課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

### 学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連

- ・「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」との質問に肯定的な回答をしている児童ほど、学力調査（国語・算数・理科）の正答率が高くなっている。
- ・「家で、学校の宿題をしていますか」「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」との質問に肯定的な回答をしている児童ほど、学力調査の正答率が高くなっている。
- ・「新聞を読んでいますか」との質問に「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」と回答する（新聞を読む頻度が高い）児童ほど、学力調査の正答率が高くなっている。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」との質問に肯定的な回答をしている児童ほど、学力調査の正答率が高くなっている。

毎朝決まった時刻に起きて、きちんと朝食をとるという規則正しい生活習慣は、学習面によい影響を及ぼしています。このことは、家庭で学校の宿題に取り組んだり自主的に学習したりする「家庭学習」の習慣が身に付くこととも密接に関わっています。また、肯定的な自尊意識と学習への取組は相互に影響し合うことも考えられます。

学校においても、子どもたちの規則正しい生活習慣づくりや、一人一人の自尊意識（自己肯定感）を高めていく取組を発達段階に応じて進めていきます。ご家庭でも、学校での様子や出来事についてお子さんに聞いていただき、できるようになったことやがんばったことなどを褒めてあげてください。

## 2 中学校3年生

### (1) 教科の状況

状況を見るにあたって、よくできている内容【○】と努力を要する内容【△】の一部及び今後の指導のポイントを紹介する。

#### 【国語・中学校3年生】

国語	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	正答率：全国平均よりやや低い 分 布：上位層がやや少ない	正答率：全国平均よりやや低い 分 布：上位層がやや少ない
内容	○文脈に即して漢字を正しく書く。 ○文脈に即して漢字を正しく読む。 ○古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える。 △場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。 △段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる。 △目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く。	○話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する。 ○全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す。 △文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える。 △登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。	
<b>今後の指導のポイント</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読み、内容を的確に捉える力を身に付けるために、目的や意図に応じて、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて内容を把握するようにする。</li> <li>・説明的な文章を読む際には、書き手が読み手の理解を促すための文章の構成や展開、一つ一つの表現の工夫について、その効果を具体的に考えるようにする。</li> <li>・文学的な文章を読む際には、目的に応じて場面の展開や登場人物の描写に注意して読むようにする。例えば、文章全体から登場人物の言動が分かる描写を見付け、それらを場面の展開に即して整理し、登場人物の相互関係についてまとめるとともに、登場人物の相互関係からそれぞれの人物像や内面にある深い心情を捉えるようにする。</li> </ul>			

【数学・中学校3年生】

数学	区分	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	状況	正答率：全国平均と同程度 分 布：上位層がやや多い	正答率：全国平均と同程度 分 布：全国とほぼ同様
内容	<p>○絶対値の意味を理解している。</p> <p>○指数を含む正の数と負の数の計算ができる。</p> <p>○単項式どうしの除法の計算ができる。</p> <p>○文字式に数を代入して式の値を求めることができる。</p> <p>○一次関数の意味を理解している。</p> <p>△空間における平面と直線との位置関係(面と辺が平行であること)を理解している。</p> <p>△四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の<math>1/3</math>であることを理解している。</p>	<p>○与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。</p> <p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。</p> <p>○発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができる。</p> <p>△グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる。</p> <p>△事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。</p>	
<b>今後の指導のポイント</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間図形の見取図を見るだけでなく、身近な立体を見たり、実際に触れたりしながら、様々な方向や視点から空間図形を観察する場面を設定することを通して、空間における直線や平面の位置関係を理解できるようにする。</li> <li>・柱体と錐体の体積について、2つの体積の関係を予想し、その予想が正しいかどうかを、模型を用いた実験によって確かめるなどの場面を設定できるようにする。</li> <li>・2つの数量の変化や対応の特徴を表や式、グラフを用いて捉え、それらを相互に関係付けて考察するようにして関数関係を見だし、関数を判断できるようにする。</li> <li>・様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「使い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実させる。その際に、問題解決のために表した表や式、グラフをどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討できるようにする。</li> </ul>			

【理科・中学校3年生】

理科	状況	正答率：全国平均と同程度 分 布：中位層がやや多い
	内容	<p>○神経系の働きについての知識を身に付けている。</p> <p>○アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている。</p> <p>○植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている。</p> <p>○初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用できる。</p> <p>△ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘できる。</p> <p>△炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる。</p> <p>△風向の測定方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる。</p> <p>△植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる。</p>
<b>今後の指導のポイント</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガスバーナーの各部の名称と機能などの基本的な知識を身に付け、ガス調節ねじと空気調節ねじを操作してガスバーナーの炎を適正な色と大きさにする操作を繰り返し行うようにする。</li> <li>・自然の事物・現象や身の回りの事象から問題を見だし、生徒自らが課題を設定して探究することができるようにする。</li> <li>・観察・実験の結果を予想や仮説と比較したり、今までに習得した知識・技能と関連付けて考えたりする視点を明示的に指導するなど、観察・実験の結果を分析して解釈する学習活動を行う。</li> <li>・実験の目的に応じた条件を指摘し、条件制御の知識・技能を活用できるようにする。例えば、はじめに「変化すること(従属変数)」「原因として考えられる要因」を全て挙げ、それらの妥当性を検討し、次にそれらの要因を「変える条件(独立変数)」と「変えない条件」に整理して、実験を計画するようにする。</li> </ul>		

## (2) 学習・生活習慣等の状況

状況調査を見るにあたって、学習・生活習慣等を「生活習慣」「学校・家庭での生活の様子」「自尊意識」「規範意識」「学習の様子」の観点から分析する。

全体の傾向（様子）のよい点【○】と改善が必要な点【△】及び学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連について紹介する。

### 全体の傾向（様子）【中学校3年生】

#### 【生活習慣】

○朝食を毎日食べている。 ○同じくらいの時刻に起きている。 △同じくらいの時刻に寝ていない。

#### 【学校・家庭での生活の様子】

○家で、学校の宿題をしている。 ○学校の授業時間以外に、勉強をしている。

○学校の授業時間以外に、読書をしている。 ○新聞を読んでいる。

○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする。

△地域の行事に参加していない。

△地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がない。

#### 【自尊意識】

○自分にはよいところがあると思う。 ○将来の夢や目標を持っている。

○人の役に立つ人間になりたいと思う。

#### 【規範意識】

○学校の規則を守っている。 ○いじめは、どんな理由があってもいけない。

#### 【学習の様子】

○算数や理科の勉強は大切だと思う。○理科の勉強が好き ○数学ができるようになりたいと思う。

○数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。

○理科について、自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある。

△自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表をしていない。

### 学習・生活習慣等と教科の調査結果との関連

- ・「朝食を毎日食べていますか」との質問に肯定的な回答をしている生徒ほど、学力調査（国語・数学・理科）の正答率が高くなっている。また、「家で、学校の宿題をしていますか」「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」との質問に肯定的な回答をしている生徒ほど学力調査の正答率は高く、その差は顕著である。
- ・「新聞を読んでいる」「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と回答している生徒の学力調査の正答率は高くなっている。
- ・「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」と回答している生徒の学力調査の正答率は高くなっている。
- ・「自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表をしていたと思いますか」との質問に肯定的な回答をしている生徒ほど、学力調査の正答率が高くなっている。

規則正しく生活する習慣や家庭で学習する習慣が身に付いていることは、学習面にもよい影響を与えていることが明らかになっています。また、地域や社会の出来事に関心を持ち、情報入手する生徒や自分の知っていることを積極的に伝えようとする生徒は、学習面にもその力を発揮していると考えられます。

学校においても、規則正しい生活習慣づくりや計画的な学習習慣づくりに向けて、学年に応じた取組を進めていくとともに、授業では、生徒間で話し合う活動を積極的に取り入れ、自分の考えを深めたり広げたりできるよう指導・支援していきます。ご家庭でも、地域や社会で起こっている問題やニュース、学校での出来事などについて、家族の会話の話題にしたり、自分の考えを語らせる機会を増やしたりしていただきますようご協力をお願いします。



